

下水道管の点検調査の状況について

1 概要

本市の下水道管の点検調査については、令和元年9月に策定した「明石市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づき、リスクを未然に防ぐ予防保全に努めています。令和元年度から点検調査（別紙）を始め、令和6年3月に2期目の計画を策定し、現在6年目の点検調査を実施しています。

2 点検の頻度

施設の重要度に応じて、次のとおり設定

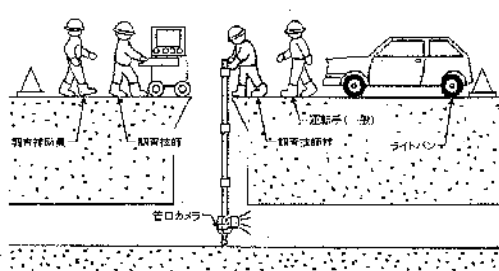
- ①「腐食環境下※」の管路施設 : 5年に1回
- ②重要管路施設（合流式・分流式汚水幹線）: 15年に1回
- ③一般管路施設（合流式・分流式汚水枝線）: 20年に1回
- ④雨水管路施設（分流式雨水幹線・枝線）: 30年に1回

※腐食環境下

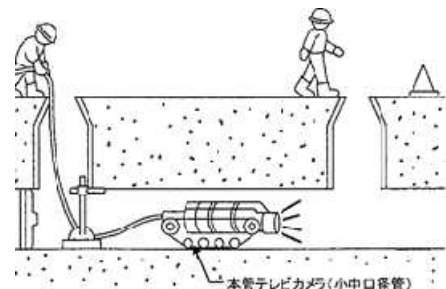
- ・圧送管の吐き出し先
- ・サイフォン（伏せ越し）の下流
- ・ビルピット（地下貯留槽）の排水先
- ・海水浸入

3 点検から工事までの流れ

- ①点検：管口カメラを使って、マンホール内から管の状況を確認
- ②調査：点検結果で異常があった場合、管路全線を本管テレビカメラで調査
- ③設計：改築工事の設計
- ④工事：管更生工事で布設替工事等の改築工事の実施



点検



調査（テレビカメラ）

出典：下水道管路管理マニュアル2023（公益社団法人日本下水道管路管理業協会）

4 明石市で過去に発生した下水道管に起因する大規模陥没の事例

- ①年月：平成15年7月（大久保町西島）
- ②原因：硫化水素によるコンクリート管の腐食
- ③対策：類似箇所の緊急点検と腐食対策を実施するとともに、平成17年度～26年度にかけてコンクリート管が集中するエリアで調査及び改築工事を実施



5 その他

陥没発生時には「陥没の初動対応マニュアル」に基づき対応

点検調査計画（令和元年度～5年度）

幹線をリスク順に、5年間で点検調査する。
また、腐食環境下の施設を1年目に調査する。

